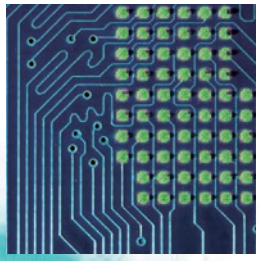
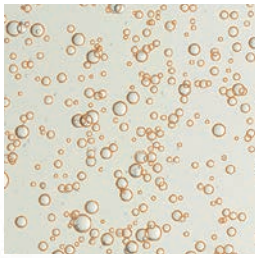
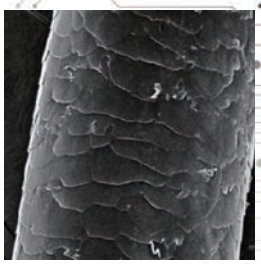
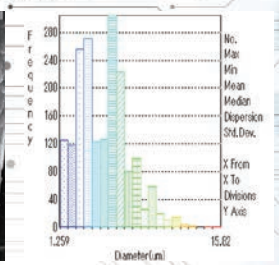
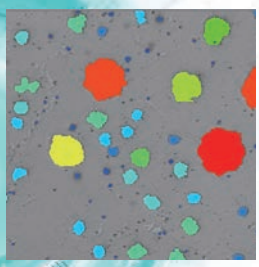
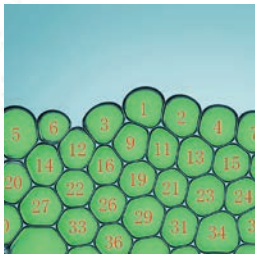
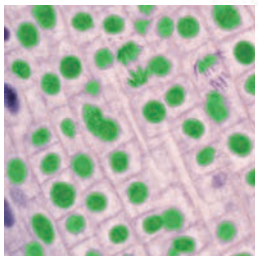
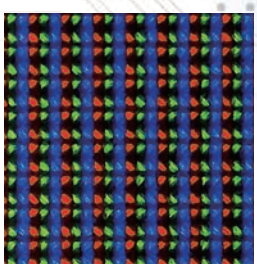
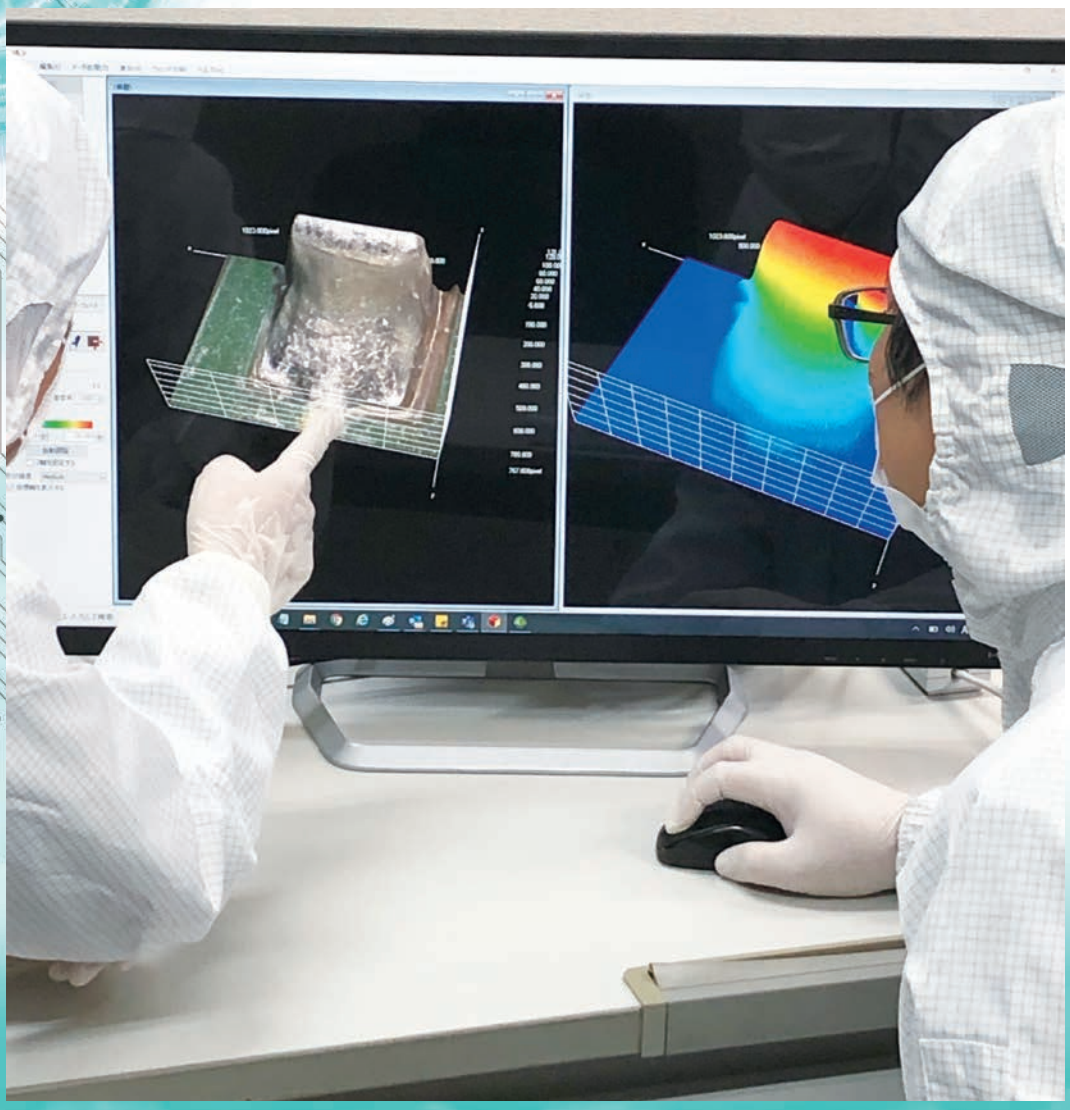





Computers and Communications

夢の架け橋

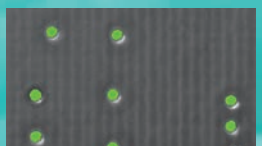
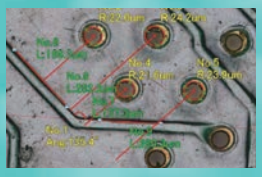
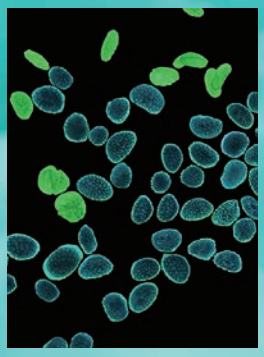
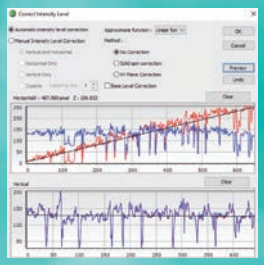
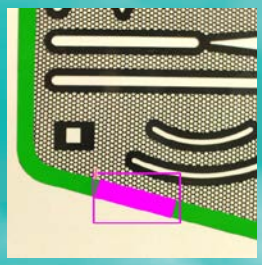
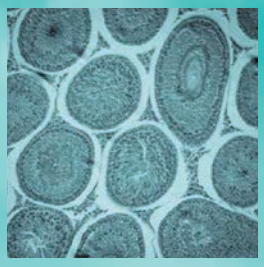
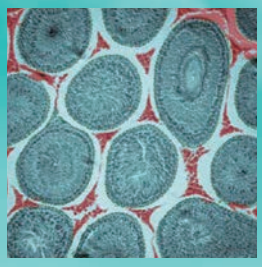
Contents

01 製品紹介
02 ビジネスソリューション
03 ユーザー訪問
東邦電気産業株式会社 さま
下野市教育委員会 さま
中央大学 さま
04 ミタニノヒトビト
05 部門紹介
06 ゆめの博士
「マイナンバーカード活用！オンライン資格確認」
07 ミタニトピックス

MITANI お客様情報誌

お客様と当社をもっと強く結びつけ、ご要望をさらに深く受け止めて、より大きなご満足をお届けしたい。
この情報誌を架け橋として、コンピュータ アンド コミュニケーション

2021年
78号

画像解析・計測ソフトウェア
ウィンルーフ クラウド
WinROOF CLOUD
Image Analysis / Measurement software

MITANI CORPORATION
三谷商事株式会社

製品紹介

三谷商事の新製品をご紹介します。

ふくいデータセンター

福井県内データセンター屈指の
堅牢性と最新鋭のファシリティ
DR/BCP対策にも最適な通信拠点

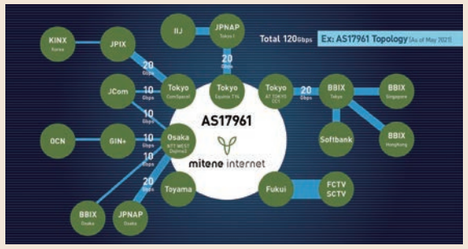
2021年5月1日より「ふくいデータセンター」のエリアを拡張し、サービス開始となりました。県内屈指の堅牢性と最新鋭のファシリティを備え、災害発生時をはじめとしたDR/BCP対策にも最適な通信拠点として、お客様の大切な情報資産を安全にお預かりします。

さらに、大容量インターネットバックボーンや福井県情報スーパーハイウェイ（FISH）、学術情報ネットワーク（SINET5）に直結できるほか、キャリアフリーにより各社ネットワークサービスの利用も可能です。また、セキュリティ面についても、入退室の常時監視に加え、掌紋認証によるバイオメトリックス認証を実施するなど、万全の運用体制を整えております。

これからもミテネインターネットは、ITソリューションパートナーとしてお客様の多様なご要望にお応えしてまいります。

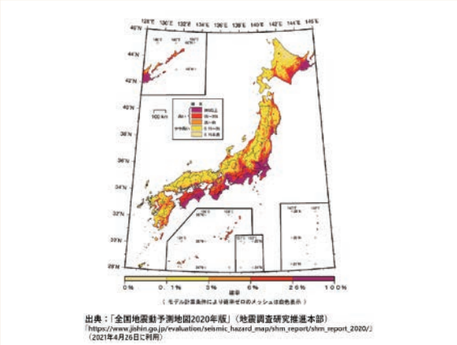
POINT 1

北陸初の
Interconnection DataCenter
高スペックな通信インフラを完備！



POINT 2

DR対策に最適な
環境リスク分散の最適地



POINT 3

受電・災害・セキュリティの
全方位に配慮したアーキテクチャ

お問合せ先

ミテネインターネット株式会社　営業部
TEL : 0776-20-3195　E-mail : info@mitene.or.jp
https://www.mitene.co.jp/contact/

ビジネス ソリューション

BUSINESS SOLUTION

スマートグラス × LiveOnで実現する遠隔作業支援

作業現場（作業者）と本部（指示側）を接続し、リアルタイムで映像、音声のやりとりが可能！本部からの指示や現場の状況確認、技術者の育成等に便利です。現場の端末は電源ボタンをONで接続を開始するので、操作を最小に抑えることができます。

他社製品と比べた【LiveOn】の4つの優位性

①簡易性

遠隔現場支援システムはスマートグラスを用いること、そして使用環境が作業現場であることから、「簡易性」が最も重要といえます。

LiveOnは、専用アプリを用いて複雑な操作を一切せずに、事前設定情報に紐づきスマートグラスから自動的に会議室へ接続できる簡易性を実現しました。

電源ONのみで接続できるシステムはLiveOnだけです。

②安定性

遠隔現場支援は通常の会議で利用する場合とは利用環境が大きく異なります。

スマートグラスはWi-Fiでの接続が基本となり、回線が不安定な環境での接続となります。そのため、データの処理能力や圧縮技術に長けた製品でないと、途端に接続が不安定になってしまいます。

LiveOnは他社ではマネできない圧縮技術により使用するデータ量が圧倒的に少なく、他社製品の5分の1のデータ量で通信することが可能です。

スマートグラスとWi-Fiという不安定な環境下においても、「音声が途切れない・映像が固まらない」という安定した品質を実現しています。

③機能性

遠隔現場支援では、画像の切り取りや書き込み等の遠隔支援に特化した機能が求められます。

LiveOnは、Web会議としての品質と映像キャプチャ等の機能を持ち合わせているという強みがあります。

1:1だけでなく、1:Nの複数拠点接続が可能です。そして、LiveOnは用途に応じて活用できる機能が多数ございます。

④サポート面

当社では、導入検討段階から導入後にいたるまで、営業担当が手厚くサポートします。

そのため、初めてスマートグラスを使用する方にも安心してご利用いただけます。

お客様がご要望される場合には、スマートグラスのキッティング作業から全て行い、スマートグラスの電源を入れるだけで使える状態にして納品いたします。

遠隔現場支援システムは、企業規模を問わず今後も市場が広がっていくと考えられます。

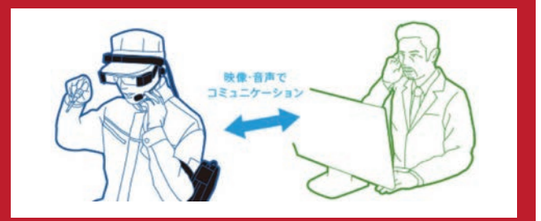
スマートグラスは実際に体験することで、より深くご理解いただける商材です。弊社ではスマートグラスのお貸出しや遠隔でのデモも可能ですので、お気軽にご相談ください。

■ LiveOn ウェアラブルの仕組み

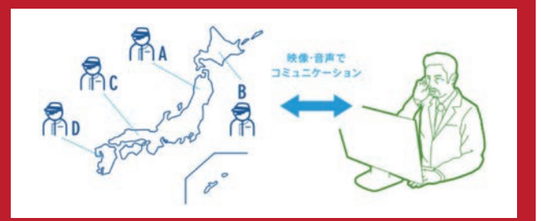
作業現場（作業者）と本部（指示側）を接続し、リアルタイムで映像、音声のやりとりが可能！

本部からの指示や現場の状況確認、技術者の育成等に便利です。現場の端末は電源ボタンをオン、ワンタッチで接続を開始するので操作も簡単！現場サイドの操作は最小に抑えることができます。また、指示者1名に対して複数の現場の接続も可能なため、現場間の連携も実現し、作業効率の向上や現場の働き方改革にも繋がります。

■ ご利用イメージ1　事務所 ⇔ 現場との接続



■ ご利用イメージ2　事務所 ⇔ 複数現場の接続



お問合せ先　三谷商事株式会社
URL: https://si.mitani-corp.co.jp/form/contact/
E-mail: si-info@mitani-corp.co.jp

ユーザー訪問

CASE STUDY

基幹システムの導入により、情報管理の標準化と業務の効率化を実現

東邦電気産業株式会社 さま

様々な施設における、電気・空調設備工事を手掛ける東邦電気産業株式会社様（本社：京都市中京区壬生御所ノ内町32番地）。当社が提供する建設・工事業向けERPパッケージ「e2-movE（イー・ツゥー・ムーヴ）」を導入いただきました。

東邦電気産業株式会社
執行役員　経理・購買部長
中川 靖弘 氏

お客さまよりひとこと

標準機能が豊富な e2-movE に、弊社の業務に合わせて数々のカスタマイズを加えて導入したことにより、複数の課題が解決しました。導入は間違いのない選択だったと思います。今後もより深く活用するため、引き続きご支援をお願いしたいです。

拠点や担当者により情報管理の方法にバラつきが生まれていた

工場施設や学校施設、文化施設など、街を支える様々な場所で、電気設備工事及び空調設備工事を手掛ける東邦電気産業株式会社様。全国に10拠点を持つ同社では、2020年5月にe2-movEを導入されています。

経理・購買部にて基幹システム導入を先導した中川靖弘氏は、2018年に入社した直後から、どのようなシステムを選ぶべきか検討を始めたとのこと。というのも、当時は情報管理において人的ミスや属人化の問題が生じていたうえ、工事が終わった後に事後報告として情報が入力されるため、こまめな確認ができずリアルタイム性に欠けていたそうです。

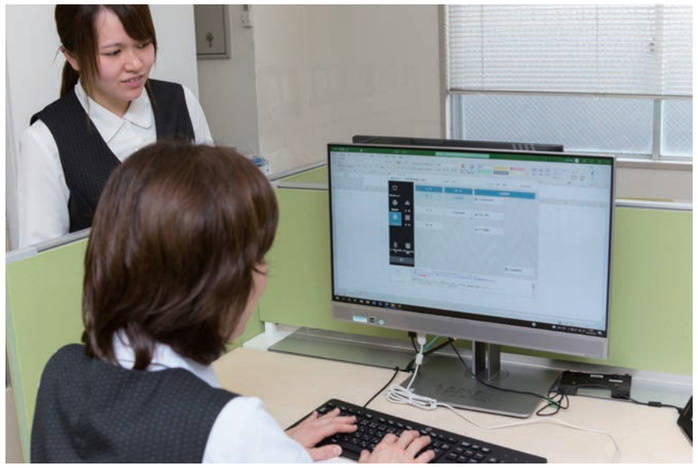
「弊社には10拠点ありますが、それぞれの担当者が独自のローカルルールのもと、エクセルによる情報管理を行っていました。そこで新たに基幹システムを導入し、業務の効率化と標準化、そして経営情報の可視化を図ろうと考えました」

工事業で必要な機能が標準装備されており活用シーンが想像できた

基幹システムを導入するにあたりまず行ったのは、一つのサーバーで資材管理や発注管理・進捗管理を行うなど、要件をまとめることだったそう。その後、展示会などで情報を収集し、2019年3月に3社によるコンペを開催されました。コンペでは機能の詳細はもちろん、メーカーとしての信頼性、継続的に利用していくためのコスト感、導入前後のサポートなど総合的にチェックしたと振り返りました。

特に機能性で注目したのは、日々の業務で必要な工事登録や受注管理、発注依頼入力など。また、導入すれば長期的に使用していくため、しっかり信頼関係を結べる企業を選びたいと考えたと語りました。

「e2-movEは、パッケージの標準機能として使える領域が他社より多かった点が高評価でした。また、工事番号親番での合計機能が標準であることや、発注書の注文番号を工事番号に紐づけて管理できることなど、実際の業務で使うシーンを想像したときに便利な機能が多かったです」



東邦電気産業株式会社

所在地	京都市中京区壬生御所ノ内町32番地
URL	https://www.toho-denki.co.jp/
TEL	075-811-7131
創業	1955年3月1日
従業員数	120名（2021年4月1日現在）
事業内容	電気設備工事／空調設備工事／給排水・衛生設備工事／工場インフラ工事　他

業務の効率化と標準化を実現しリアルタイムでの進捗確認が可能に

コンペの結果e2-movEの導入が決定してからは、三谷商事の担当者とコミュニケーションを繰り返し、より実用的な形に近づけていきました。「担当の方は弊社の事業を深く理解し、業務内容に精通していたと思います。初めてのシステム導入ということで質問や要望を累計194件も送りましたが、それらにスピーディに回答していただき助かりました」

e2-movEが導入されてからを振り返ると、それまで行っていたエクセル入力が一切不要になるなど、様々な変化があったそう。なかでも最大の改善点として、EDIデータの取り扱いにかかる時間が大幅に削減され、業務が効率化されたことを挙げました。

拠点ごとのローカルルールもなくなり、情報管理の方法が標準化されたため、誰が見ても原価や進捗状況を一目で把握できるようになったのも大きな変化だったとのこと。工事が終わってから情報を入れるのではなくこまめに入力されるようになったため、リアルタイム性も改善したと語りました。

e2-movEに対する習熟度を上げて入力した情報の「活用」を目指す

e2-movEの導入から約1年、少しずつシステムに慣れてきたそうです。次に目指すのは、導入フェーズから活用フェーズへの移行だと話します。これを実現するために行ったことが、「e2-movE活用の手引き」の作成です。

この手引きには、どのメニューをチェックするとどのような情報が見られるか、担当者によってどのメニューを見るべきかなどがまとめられています。これを活かして一人ひとりの習熟度を上げ、過去情報をスムーズに照会できるようになることで、e2-movEをより深く活用していきたいと話しました。具体的にどんな照会をするかには、次のように回答されました。

「過去に行った工事と似ている工事を行うとき、前の工事で使った材料や発注した業者、コストの詳細などを確認します。e2-movEでこうした情報をすぐにチェックできるようになることで、担当者の負担を減らすことが可能です」

これまでは情報を入力することに注力していましたが、今後は入力した情報をどう活用していくかを重視していくそう。事前に立てた予算と実績にずれが生じていないか、予測していた利益率はどのくらい達成できたかなど、入力した情報をデータとして分析して初めて、e2-movEを導入した本当の成果が出せるようになると考えているそうです。

とはいえ、こうした変化はドラスティックに起こるわけではなくグラデーションで変わっていくもの。急いて進めるのではなく、少しずつ活用を広げていこうと思うと語っていただきました。

情報システム事業部
関西支店　京都営業所
杉山 憲司

当社営業担当よりひとこと

東邦電気産業様のシステム導入に携わらせて頂きました事、光栄に存じます。5年、10年と月日が経過した後に、「あの時三谷商事に任せて間違いなかった」と言って頂けるよう引き続きお客様目線での対応を心掛けたいと思います。

（写真左から）
システム部
前畑 雄飛　立尾 昌彦
パッケージビジネス推進部
定永 徹

当社SEよりひとこと

東邦電気産業様の多大なご協力のもと、スケジュール通りに無事カットオーバーを迎えられたことを大変嬉しく思います。

今後もシステムをよりご活用いただくために、全力でサポートさせていただきます。

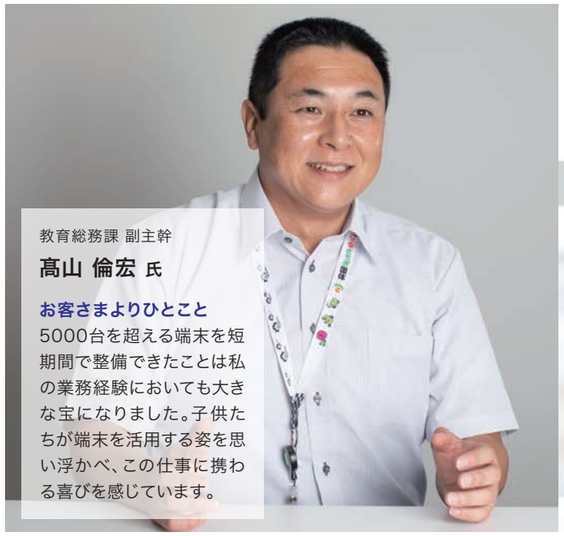
ユーザー訪問

CASE STUDY

「GIGAスクール構想」で市内の全小中学校に iPad 約5300台を整備

下野市教育委員会 さま

全国の児童生徒に1人1台のデジタル端末を配備する文部科学省の「GIGAスクール構想」。同構想に基づき、下野市教育委員会様（栃木県）では、市内の公立小中学校を対象としてiPad（約5300台）と端末管理ツールを導入いただきました。



教育総務課 副主幹
髙山 倫宏 氏

お客さまよりひとこと
5000台を超える端末を短期間で整備できたことは私の業務経験においても大きな宝になりました。子供たちが端末を活用する姿を思い浮かべ、この仕事に携わる喜びを感じています。

学校教育課 主幹兼指導主事
佐々木 功一 氏

お客さまよりひとこと
システム興産さんと三谷商事さんにご協力いただき、「ここまでできるんだ」という可能性を実感しました。今後は、さらに有効な活用方法を子供たちや先生方と共に研究していきたいです。

「GIGAスクール構想」の実現へ。課題は「数」と「時間」

2019年12月に文部科学省から発表された「GIGAスクール構想」。「児童生徒に1人1台のデジタル端末」および「高速大容量の通信ネットワーク」を一体的に整備することを主眼に置いた同構想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初の予定（2023年度までに段階的に整備）を繰り上げ、2020年度中の実現を目指すこととなります。この決定を受け、下野市教育委員会様でも市内すべての公立小中学校を対象としたデジタル端末の配布へと動き出しました。

下野市内の小学校は11校、中学校は4校。児童生徒、教職員を含めて約5300台のデジタル端末が必要となります。このプロジェクトを担当した教育総務課 副主幹・髙山倫宏氏は当時の状況を次のように振り返ります。

「2020年の年明けからネットワークの整備の検討に入り、同年の春から端末の検討を開始しました。まず、一番の懸念としては、5000台を超える数の端末を調達できるのかという点でした。もう一つは、2020年度中の整備完了が国からの補助金の条件でしたので、果たしてそれまでに間に合うのかというのが大きな懸念でした」

WindowsからiOSへ。運用保守やソフト面も重視

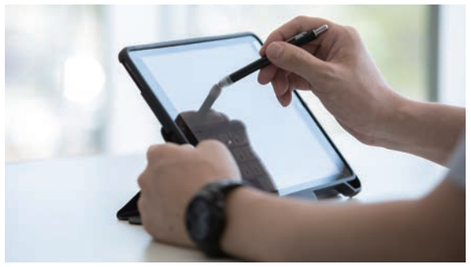
デジタル端末の選定については、学校教育課 課長・田澤孝一氏に選定のポイントをうかがいました。

「これまで市内の学校のパソコンなどは、主にWindowsを採用してきました。ただ、今回1人1台の端末整備を実現するにあたり、維持管理の面ではWindowsのアップデートのわずらわしさが気にかかりました。ほかにも、子供たちが少なくとも5年間にわたって使用するにあたっての『壊れにくさ』や、もたつきのない『レスポンスのよい使用感』が得られるか否か、さらには『直感的』に操作でき、『創造性』を育むツールとして活用できることなどを重視しました」

以上のポイントをふまえたうえで、三谷商事を含めた4社が提案したパッケージプランから比較検討を開始。三谷商事が提案したiPadと管理ツール（Jamf Pro、Apple DEP）のプランを採用したポイントとして

学校教育課 課長
田澤 孝一 氏

お客さまよりひとこと
子供たちや先生方が「導入してよかった」と言えるように、そして子供たちの学びを深められるように、今後ともシステム興産さんと三谷商事さんにご協力いただければと考えています。



下野市教育委員会 栃木県下野市笹原26番地

髙山氏は、「導入後の運用保守や、管理ツールをはじめとしたソフト面を含めて総合的に検討しました。三谷商事さんにパッケージの詳細をうかがい、こちらの求める要件を実現していただけると判断しました」と述べました。

「いつでもアクセスできる」教育現場からの好意的な反響

そして2021年3月システム興産様を通じて、市内の全小中学校へのiPadの導入が完了。iPad導入後に生まれた教育上の効果について、学校教育課 主幹兼指導主事・佐々木功一氏は、次の点を挙げました。

「現場の先生方からは、『パソコン室の空き状況に左右されることなく、いつでも電子素材にアクセスできるのがありがたい』という意見が最も多かったです。また、『計算ドリルなどのアプリによって、苦手分野を自分のペースで個別学習できる』『教員のプリント準備などに関する負担軽減』『校外学習における動画・静止画撮影の活用』などのメリットのほか、『子供たちが自分の動きを撮影・視聴し、メタレベルで認知することで、自分のパフォーマンスの改善につながっている』という意見も寄せられました」

また、管理ツールとして導入したJamf Pro、Apple DEPについて佐々木氏は、「現場の機器トラブルでもこちらから遠隔で状況を確認でき、対処できる点が大きなメリットだと感じています。自分たちで解決できないトラブルは、システム興産さんと三谷商事さんが迅速にフォローしてくださるのもありがたいです」と評価しました。

ネットワーク環境の格差解消やデジタルスキルの浸透も視野に

今後のデジタル環境の整備については、「これからは学校での学習だけでなく、家庭での持ち帰り学習にも対応する必要があります。その場合、インターネット環境がないご家庭に対してWi-Fiルーターを貸し出す制度を整備することを検討しています」（髙山氏）、「今後はクラウドを活用して授業や家庭学習をサポートする方法なども研究していきたいと考えています」（佐々木氏）、「デジタルツールは単に導入するだけでなく、鉛筆や消しゴムといった慣れ親しんだ道具のように使えるようになることが肝心だと考えています。下野市の教育スローガンの一つに『当たり前のことを当たり前に』という言葉がありますが、デジタルツールも、子供たちや先生方が『当たり前に』使いこなせるスキルを身につけられるよう、我々としても環境整備やサポートに努めていきたいと考えています」（田澤氏）と、展望を語ってくださいました。

（写真左から）
営業部
次長兼営業1課課長
木村 透 氏

営業部 SE課
古川 正輝 氏

システム興産様よりひとこと

小中学校15校で御使用されるiPadを下野市教育委員会様と御一緒に運用させていただき誠にありがとうございます。

お客様も初めての試みに不安だとは思いますが、一つ一つ丁寧に安心してご利用いただけるようサポートを努めて参ります。

（写真左から）
文教営業部
東京文教TS課
奥永 京太

文教営業部
東京文教課
本堂 昌孝　片岡 明

当社担当営業・SEよりひとこと

短期間で導入頂き、負担軽減や改善などの効果が上がっているとのことに喜びを噛み締めております。

今後、クラウドを活用した授業や家庭学習のサポートについてもシステム興産様と連携して良いご提案が出来るように致します。

ユーザー訪問

CASE STUDY

大学の顔となる新棟における学びの「場」と「システム」づくり

中央大学 さま

中央大学多摩キャンパスに今年竣工した新棟「FOREST GATEWAY CHUO」。棟内PC教室のレイアウト設計に加え、共用PC端末、クライアント管理システム「V-Boot」をMicrosoft Azure上で運用するソリューションを導入いただきました。

情報環境整備センター事務部
多摩ITセンター事務課
倉本 優 氏

お客さまよりひとこと

関連部署や施工業者など多くの関係者が集い、急な仕様変更なども発生する中、三谷商事さんが円滑なコミュニケーションで安心感のある対応をしてくださったことに感謝しております。

物理環境からクラウド環境への移行・集約を重視

2021年4月に中央大学多摩キャンパスで新たに共用が開始された「FOREST GATEWAY CHUO」は、木材を活用した温かみのある空間が特徴。その中心に位置するPC教室は、アクティブ・ラーニング型のレイアウトを採用し、教育におけるDXを推進する象徴的な空間として誕生しました。

このたび中央大学様は、ネットブート型クライアント管理システム「V-Boot」をMicrosoft Azure上で運用する形態でのソリューションを導入。全学部生を利用対象としたPC教室のクライアント環境において、不特定多数の学生が利用する際のイメージ管理にV-Bootを活用することで、利便性が高く、年度ごとの更新やカリキュラムの変更にも対応しやすい環境を実現しました。

本件を担当したITセンター事務課・倉本優氏は、導入にあたっての方針を次のように語りました。

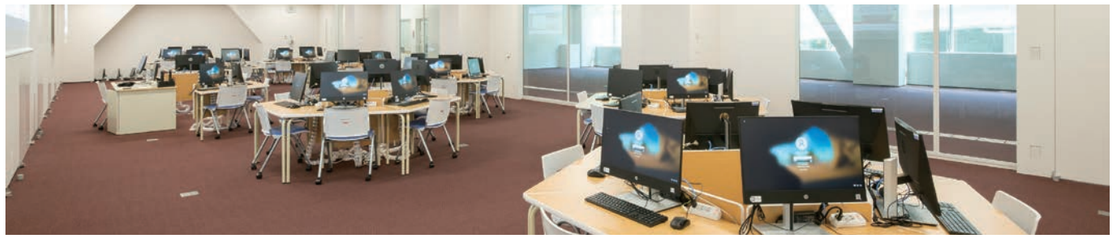
「前提となる課題としては、これまで物理環境に構築されてきたサーバ群を、クラウド環境に移行・集約させていく必要がありました。近年、学内ではクラウド環境への移行を進めてきましたが、一時期は多摩キャンパスのサーバ室が機器で埋め尽くされるほどでした。物理的な構成がメインの場合、法定停電の対応時などに利用者向けのサービスを停止する必要があり、メンテナンスで発生する管理コストも増大します。また、移行先のクラウド環境としては、従来から利用中のMicrosoft Azureに一本化するというのが大きな方針でした」

「ネットブート型」か「VDI型」かという分岐点

クライアント管理システムの導入においては、V-Bootのように各ユーザに共通のイメージ（利用環境）を提供する「ネットブート型」のほかに、ユーザごとに個別のイメージを提供する「VDI（仮想デスクトップ）型」も候補に上がりました。

「V-Bootについては既に各学部のPC教室などで導入実績があり、その有用性を実感していました。学内での仕様検討の段階では、学部ごとに個別のソフトウェアを使用する可能性もあったため、その場合はVDI型の環境構築を想定していました。ただ、VDI型の場合は、複数のイメージごとにソフトウェアのライセンスが必要になるため、コスト面がネックとなります。検討の結果、全学部において隔たりなく、同一のイメージで利用してもらうことになったため、V-Bootの採用が決定しました」

仕様確定後、5社に対して提案を依頼。三谷商事に決定したポイントとして倉本氏は、「課題解決の細やかさですね。例えば、PCからプロジェクターへの映像投影を無線で伝送させたいという仕様があったのですが、三谷商事さんからご提案いただいたプランが本学のネットワーク構成を考えると最適な内容でした」と振り返りました。



中央大学

法学部／経済学部／商学部／理工学部／文学部／総合政策学部／国際経営学部／国際情報学部／法学部通信教育課程／教職課程

多摩キャンパス	東京都八王子市東中野742-1
後楽園キャンパス	東京都文京区春日1-13-27
市ヶ谷キャンパス	東京都新宿区市谷本村町42-8
市ヶ谷田町キャンパス	東京都新宿区市谷田町1-18

サービスを止めない運用を実現。教室レイアウトは現場からも好評

今回の導入で得られたメリットについて倉本氏は「現場から『ソフトウェアを追加したい』『この部分の使い勝手を良くしたい』などの要望が出た際、スムーズに対応できるようになりました。ソフトウェアのバージョンアップなどの面でも、従来と比べて対応がスピードアップしたという印象を受けています」と語りました。

また、「V-Bootでは、キャッシュのイメージによって利用者の環境を継続しつつ、その裏でイメージの更新・配布まで完了できます。このように利用者に対するサービスを止めない形でのメンテナンスが可能になったことが最大のメリットだと感じています」と評価しました。

さらに、「教員からは、対面とオンラインのハイブリッド式授業でもグループワークなどが滞りなく実施できるという点で高い評価を得ています。また、PC教室はレイアウトに関しても三谷商事さんにご提案いただましたが、現代型の双方向授業を行う環境において、座席の配置や形状がたいへん好評です。学生からは、『ただ聞くだけの授業ではなく、主体的に参加できる』という感想も寄せられています」と、現場からの反響を紹介しました。

コロナ禍をふまえた利用環境の整備を見据える

今後に向けては、「コロナ禍という状況もふまえ、学生や教員の自宅からの授業参加や在宅ワークの拡充。また、大学に自分のパソコンを持参する『BYOD（Bring Your Own Device）』についても視野に入れていきたいと考えています」とし、「これまでは学部ごとにPC教室が設置されていましたが、今回、全学部生が使えるPC教室という環境を実現することができました。近年、オンライン授業や就職活動などでパソコンを使う機会が増えている状況下で、貸出用のノートパソコンなども含めて、学生がいつでもどこでも使える環境を整備していくことも視野に入れています」と、構想を語ってくださいました。

文教営業部
東京文教課
片岡　明

当社営業担当よりひとこと

学部共通の新棟にご導入の機会を頂きありがとうございます。

什器やAV機器も含めた新しい教育環境のお手伝いが出来て、大変うれしく思います。貴学のご期待に応えられますよう、今後も魅力あるご提案をしていきたいと思っております。

文教営業部
東京文教TS課
小山　翔大郎

当社SEよりひとこと

各部門のご担当者様にご尽力いただき、無事プロジェクトを終えることができました。ありがとうございます。

今回のシステム導入で、利用者様・管理者様の双方にとって、より使い勝手の良い学習環境となれば幸いです。

ミタニノヒトビト

2021年春に入社した、三谷の新入社員をご紹介します。

公共システム営業部

戸田 花生

小中高大すべての「情報の授業」が得意でなかった私が、まさか三谷商事の情報部門で仕事をするとは夢にも思っていませんでした。仕事でITに携わるとは思っていませんでしたが、学生時代に漠然と営業職をしてみたい！と思っていた私にとって、業務が本格化してきて、忙しくわからないことだらけの毎日はとても充実しているように思います。手厚く指導をしてくださる先輩や、刺激し合える同期と一緒に1日でも早く1人前になれるよう頑張ります！

福井支店
TS課

神田 浩平

これから来る業界かなと思ったことと、ITに疎かったのでそれを克服したいと考え志望しました。IT業界では日々新しい製品が生まれており、部署内でまだ誰も触れたことのない製品があるというのが面白いところだと感じています。新しい製品を扱うのは難しいことですが、自分のブランドを作るチャンスでもあると思うので、どんどん挑戦して部署として広がりを生めるように頑張ります。大学時代学んだことと全く違う分野で何も分からない状態ですが、伸び代しかないと思って頑張ります。よろしくお願いいたします。

福井支店
営業課

篠原 正樹

今まで情報とは無縁だったものの、営業力だけでなく技術力も身に付けたいと思い情報システム事業部を志望しました。配属されてからは、新しいことに触れる日々で、自分の中に様々な知識が増えていることを感じます。「深く」学んでいくだけでなく、新たな技術にも目を向けて「広く」学んでいきたいと思っています。知識もスキルも兼ね備えた先輩方のもとで過ごせることは、非常に大きな成長のチャンスだと思います。0からのスタートではありますが、常に向上心をもってチャレンジし続けていきたいと思います。

システム部
サービス業課

久保田 龍一郎

学生時代の専攻が情報だったので、その時に学んだことを少しでも活かしたく、情報部門を選びました。IT業界は新しい技術やトレンドなどが次々と出現してくる変化の激しい業界だと感じています。その波に取り残されないよう日々学習して、効率よく仕事を進められるようになりたいです。システム部としては、先輩方の顧客対応、業務内容をしっかりと把握して、1日でも早く一人で案件を担当できるように頑張ります！！

システム部
パッケージシステム課

南井 直人

未経験のことに挑戦したい。その思いで、情報部門を選びました。プログラミングは難しいと聞いていましたが、せっかく情報に行くなら難しいことを経験したいと思いSEを志望しました。現状、分からないことは山のように積みあがっていますが、1つずつ学び、経験し、一人前のSEとなりたいです。未経験の事や知らない事を経験することは、人の考え方や行動を豊かにすると考えています。情報の世界に飛び込んでよかったと思えるように、人間としてもSEとしても成長することが目標です。

システム部
製造業課

二川 由梨

私は大学で工学を専攻しており、モノづくりを学んできました。また、サークルでは、雑木林を「開拓」して農園を作っていく中で、地元の農家さんと関わる活動をしていました。その中で、農業がいかに重労働なのかを肌で感じ、「食」という大事な部分を担っている農業を存続させるためにIT化を進めることは責務であると感じ、IT業界に興味を持ちました。業務面では、学生時代に培った「開拓者精神」を活かし、お困り事を抱えている方々を開拓していき、最適なサポートができる技術者になれるように精進します。

システム部
パッケージシステム課
(東京駐在)

矢貴 太朗

サッカーボールを蹴る毎日。学生の本業である学業などそっちのけでサッカーにのめり込んだ学生時代でした。学生時代の4年間、お恥ずかしい話ですが、IPアドレスなんて聞いたこともありませんでした。そんな私ですが、ITという世界に新しさを感じ、情報システム事業部を志望しました。システム部配属はまさかではありましたが、システムの緻密さと販売管理の奥深さに楽しみを見出してきました。日々、悪戦苦闘しておりますが、尊敬する上司の背中を追いかけ、いつかは追い越せるよう精進して参ります。

iビジネス推進部
コーポレート課

大富 稜也

富、名声、力・・・この世のすべてを手に入れた男・スティーブ・ジョブズ。彼の生前に放った一言は、私をITの大海へかり立てた。「Stay hungry. Stay foolish.（ハングリーであれ。愚か者であれ。）」私はグランドラインを目指し、夢を追い続ける。世はまさに、大IT化時代!!この大IT化時代で活躍するためにも、今まで培ってきた英語力・マーケティング力に加え、三谷商事において営業力・ITの知識をつけたいと思います。そのために、日々偉大な先輩方のもとで精進していきたいです。

iビジネス推進部
コーポレート課

平野 真彩

「IT」かっこいいけど自分にとっては全く縁のないもの。新しいものに疎くアナログ派の私にとってITはそんな印象でした。そして配属から毎日が新しいこと尽くしで、日々知識の無さ・自分の未熟さを実感しています。しかし、幼少期からスポーツ漬けの毎日を送ってきた負けず嫌いの私にとってわからないから挑戦しないという選択肢はありませんでした。人より劣っているからこそ誰よりもITに対して興味を持ち、わからないものはすぐに調べて吸収。この気持ちと姿勢をいつになっても忘れず精進していきたいです。

ビジュアルシステム部
東京開発課

奥田 裕斗

大学で研究をしているとき、この目視の作業どうにかならないかと思っていました。そんな中入社を決めた三谷商事には画像解析の部隊がいると知り情報部門を志望しましたが、配属されてみれば開発課ということもあり、未知の世界でした。プログラミングのプの字も知らず、日々新しいことを学びながら毎日足掻いています。先輩方は画像解析以外にもITに関する様々な知識をお持ちで、憧れるばかりです。そんな先輩方から学び、いずれは特定分野では誰にも負けない技術者になれるよう日々精進していきます。

ビジュアルシステム部
東京開発課

原田 航

大学時代に数学を専攻していたこともあり、専攻と近い情報部門を志望しました。なんて言っておりますが、大学時代は海外のカジノで生活費を濫費したり、フランスを車で縦断したりとお世辞にも数学のプロとは言えません。ですが、大学時代に培った行動力を活かし、日々学び続けることで自身の数字はもちろん、部として、会社としての数字を伸ばせるよう精進いたします。右も左も分からない場所だけ取る身長184cmの私ですが、中身の伴う「期待の大型新人」になるために成長し続けますので、何卒よろしくお願いいたします。

東京支店
TS課

芝原 將人

私には「自分の名前を看板にビジネスがしたい」という目標がある。だからこそなんでも売れる商社にずっとあこがれてきました。そんな私の配属はテクニカルソリューション課、自分が携わるとは思いもしなかった職種でした。ITの世界は、身近にありながら知らない言葉ばかりで右も左もわからない世界と日々格闘しています。今後、日本は少子高齢化が進行していく。ITの力で社会インフラを整えれば人々の健康的で幸せな生活が実現できるのではないかと私は考えているので情報システム事業部の一員として社会に新しい価値を提供できる人に成長したいです。

文教営業部
東京文教課TS課

武田 真哉

現在の課長の下で働いてみたいという思いから、情報部門そして東京文教課を希望しました。IT業界は日々新しいものが出てくる業界だと思いますので置いて行かれないように、そしてまずは少しでも早く、自分一人でこなせる仕事を増やせるよう精進していきます。目指す姿はお客様のあらゆるニーズに応えることができるようになることですので、幅広い知識を身に付けていきたいです。

中部支店
TS課

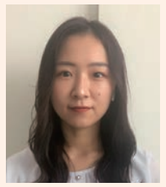
赤堀 みらい

興味範囲が広く挑戦することが大好きな私にとって、IT業界は分からないことだらけだからこそ、とても魅力的に映りました。現在は日々新しい事を発見し学ぶことができる環境を楽しみつつ、奥が深いITの世界に圧倒されています。知識豊富な先輩方に囲まれ自分の無知さを痛感する毎日ですが、その分学べることが多く恵まれた環境で自分を成長させることができています。確実な知識・経験を身に付け、「お客様に信頼され、周囲に頼られる」そんなTSを目指して、一歩一歩確実に前に進んでいきたいと思います。

文教営業部
関西文教課TS課

藤尾 佑馬

三谷商事に入社することが決まったのち、「自分の体一つでも社会に通用する人間になりたい」という理由で情報部門を希望しました。地元を離れ、大阪という知らない土地で、知り合いもおらず、最初はやっていけるか不安でした。しかし、高い技術力を持った先輩方に囲まれて仕事していくうちに、入社以前よりも仕事に高い意欲を持つようになりました。IT知識ほぼゼロの状態で始めた仕事でしたが、現在ではサーバー関連のスペシャリストになるという大きな目標を掲げて成長できることを喜ばしく思っています。



文教営業部
関西文教課TS課

茂木 美緒

文系学部に所属しておりIT業界に全く精通していなかった私は、「ITってかっこいい！」という漠然とした憧れと期待から、情報システム事業部を志望しました。きっかけこそ単純なものでしたが、実際にこの業界に触れてみると全く違う世界に足を踏み入れた感覚で面白い毎日です。先輩方やお客様のお話を理解することもまだ難しいため、SEという肩書きだけが独り歩きしている現状に葛藤しながら、日々励んでいます。少しでも早く自分の足で立てるよう、身に付けた知識とそれを裏付ける数多くの経験を通して成長したいです。

文教営業部
福岡営業所TS課

穴田 真子

人々の生活基盤を支えたいという思いで情報部門を志望しました。特に、教育に関わる情報システムやインフラの供給に関わりたいと思っています。学校教育の土台を作り、学びの質を向上させられる提案ができるよう、日々成長していきます。将来的には、私のお客さま、私と働く三谷商事社員を含め、プロジェクトにかかわるすべての人がハッピーになれるようなプロジェクトマネジメントをしてみたいです！まずはしっかりと技術を習得し、自分の言葉で相手にわかりやすく「伝える」練習を重ねていきます。

文教営業部
東京営業課TS課

周つーとん

私たちの生活に大きな変化をもたらし、深く関わり、支えている、そんなIT業界に強い魅力を感じました。文系人間だった私がIT業界を目指すには大きな勇気が必要でしたが、いざ飛び込んでみると予想以上の奥の深さにどんどんハマっていきます。馴染みのないシステムや、身近にありながら全く知らなかったITの知識に驚く日々です。そんな刺激的な毎日に心を躍らせながら成長していきたいと思います！お客様や先輩方に頼られ、後輩の目標になるような商社ウーマンになります！

部門紹介

三谷商事を支える各部門をご紹介します。

中部支店

中部支店は営業課、テクニカルソリューション課の2つの課、総勢16名で構成されています。

民需・文教いずれのお客様からも引き合いをいただいており、多岐に及ぶお客様の課題を提案力・技術力で解決しています。

今年に入り若手や新入社員が配属され、ぐっと拠点の平均年齢が下がりました。

若いパワーで、今後ともお客様第一の精神でお客様に寄り添ったソリューションをご提供します。

https://si.mitani-corp.co.jp/solution/

写真／上段左から、
棚橋功武、船橋真希、倉橋重憲、布川圭治、赤堀みらい
飯島賢之、山口芙美花、高堰宏治、
水越成美、伊藤由希子、飯田優子、牧田剛、
木谷直文、川泰彦、中村さおり、大塩忍

スタッフの スキ×コレ

今回は、「ステイホーム中のおうちご飯」をご紹介します。

鈴木 敬大

料理系YouTuberが紹介している料理を真似することにハマっています。

最近お気に入りの人は、あごひげでイケボなあの人です(分かる人には分かるはず！)

一番のおススメ料理は「鶏もも肉のにんにくしょうゆ煮」です。

煮といえども20分ほどで作れますし、何と言っても鶏肉なのでどれだけ食べても罪悪感が少なめです。

料理することもにんにくを食べることもストレス発散になるので、一石二鳥！ぜひ皆さんも試してみてください。

山口 芙美花

時々電子レンジを使ってプリンを作っています。使う道具も少なく、かつ簡単においしく仕上がるので作るのがとても楽しいです。出来上がってお皿に出すときのプルンとした感じが嬉しく動画を撮ってみたりしますが、いい感じに仕上がったときはプリンが愛おしく感じられます。チンする秒数のほんの少しの匙加減でプリンの硬さが変わってしまうので意外と繊細なレンジ使い(?)が求められるなぁと感じています。

おうちプリンに似合うようなかわいいお皿やスプーンが欲しい今日この頃です。

飯田 優子

緊急事態宣言で外食が叶わず、しぶしぶ家でご飯を作る機会が増えました。

平日帰宅後に料理をするのが面倒なので土日に作り置きができるものを作っていますが、今のお気に入りはネギ焼！いっぱいネギを刻んで山芋たっぷりで一度に大量に焼きます。

チーズや牛スジを入れてアレンジもできるので飽きもこず、しばらくネギ焼生活が続いています。

もっと料理の修行をしてレパートリーが増えたら、おしゃれな映え料理を作るんだ・・・

おしえて!!

ゆめの博士

今回のテーマは…

マイナンバーカード活用！ オンライン資格確認

博…ゆめの博士　侍…助手侍

博士　助手侍！ マイナンバーカードはもう作ったかの？

侍　マイナンバーカード？作ってないでござる！ 作っても使うことないでござる～！

博士　確かに、わしもマイナンバーカードはあまり活用できないと思っておった。
でも10月からは保険証としても使えるようになると聞いて作ってきたぞ！「オンライン資格確認」と呼ばれているようじゃ！

侍　保険証として使えるのでござるか!?
マイナンバーカードを作るだけで保険証として使えるのでござるか!?

博士　厳密にいうとマイナンバーカードを作るだけじゃダメなんだがのぉ～
マイナンバーカードを作って保険証として利用する申請を1回すれば、それからはずっとマイナンバーカードを保険証代わりに使えるようになるのじゃ！

侍　保険証としても使えるなら拙者もマイナンバーカード作りたいでござる～!!

博士　そうじゃ！ 明日行く病院は、オンライン資格確認の仮運用を始めているんじゃ！ 助手侍、一緒に行くかの？

侍　行くでござる!!

～翌日（Medi病院にて）～

侍　大きい病院でござる～！ 患者さんもたくさん待ってるのでござるね！

博士　人気の病院じゃからのぉ～。こういう患者さんが多い病院では、オンライン資格確認が非常に便利なのじゃ！ 受付の人の保険証確認の手間が省けるからのぉ！

侍　ふむふむ～患者さんだけじゃなくて、病院側にもメリットがある仕組みでござるね！

博士　そうなんじゃよ。
あ！ あれがちょうどオンライン資格確認の装置じゃ！

侍　かっこいい装置でござるな～！ どうやって使うのでござるか？

博士　装置のカード置き場にマイナンバーカードを置いて、画面表示の「顔認証」か「暗証番号」を選んで本人確認するのじゃ。

侍　顔認証にしたらカメラが起動したでござる！ 博士、マスクを外さないといけないんじゃ…

博士　大丈夫じゃ、マスクをしていても認証してくれるんじゃ。

侍　さすがでござる！ 今のご時世マスクは外したくないでござるからな～。

博士　顔認証で本人確認をした後は、案内にしたがって、情報提供の同意をすれば…
（ポチポチポチ…）これで終わりじゃ！

侍　え！ 博士、もうこれで保険証を財布に戻すのでござるか!? 受付に見せなくてもいいでござるか!?

博士　そうじゃ、今の操作でわしの保険証情報が自動で受付に表示されるから見せる必要がないんじゃ。

侍　すごいでござる！ 人との接触なしで、しかもこんなに早く終わるなんて…！ 拙者も早速マイナンバーカードを作ってみるのでござる！

～助手侍、マイナンバーカード作成後～

侍　よし！ マイナンバーカードができたでござる！ 明日病院に行ったときに使えるでござるぞ～！

博士　ちょっと待つのじゃ、助手侍！ 事前に登録をして行った方がいいぞ！

侍　登録…？

博士　マイナンバーカードを保険証として使用する申請をしてからじゃないと使えないんじゃ。一応病院でもできるんだが、事前登録して行った方が楽じゃぞ。

侍　了解でござる！

博士　まずはスマホに「マイナポータルAP」のアプリを入れるんじゃ。

侍　できたでござる！ あ、開くと5つくらいのメニューが出てきたでござる。

博士　そうじゃ、その「健康保険証利用申込」というのを押すんじゃ。
押すと、規約同意画面が出てきて…

侍　同意したら、暗証番号打つ画面が出てきたでござる！ 暗証番号って…？

博士　マイナンバーカード作るときに4桁の暗証番号を作ったじゃろ？ あれじゃ！

侍　あ！ 作ったでござる!! それを入力してみるでござる！

博士　次の画面に行ったら、マイナンバーカードを読み取るんじゃ。
iPhoneとAndroidでやり方が違うようじゃが、助手侍は何を使っているんじゃ？

侍　iPhoneでござる！ これを見ると、iPhoneの場合、マイナンバーカードの写真を撮って読み取るようでござる。

博士　正解じゃ！ 読み取りができたら、もうそれで申込完了じゃぞ！

侍　本当でござる！ 簡単でござるね！ これで明日病院に行ったときに使えるでござるぞ！ Medi病院の負担も減って楽になるでござる！

博士　良かったのぉ～。ところで助手侍、明日はなぜ病院に行くんじゃ？ 体調でも悪いのか？

侍　違うでござる！ 毎日マスクをつけるようになってから、拙者の肌荒れがひどいのでござる…皮膚科に10月27日の朝で予約してるのでござる！ 木曜日が一番博士に迷惑かからないと考えて予約したでござる！

博士　……？ 助手侍、27日は水曜日…今日じゃぞ…？

侍　え!! なら、28日の間違えでござる！

博士　Medi病院は木曜定休日じゃぞ…。

侍　え～～～～～!! 今から病院に電話して謝るでござる～!!

博士　やれやれ、結局Medi病院に迷惑かけてるではないか！

ミタニ トピックス
MITANI TOPICS

ミテネインターネット株式会社

～福井県初のAWSパートナーに認定～

三谷商事の関係会社であるミテネインターネット株式会社（本社：福井県福井市）は、インターネットサービスプロバイダ（ISP）事業や法人向けインターネットソリューションサービスを展開している企業です。

2021年1月、ミテネインターネット株式会社はアマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社より福井県の企業としては初めて「AWS Partner Network（APN）セレクトコンサルティングパートナー」に認定されました。今後、企業のデジタル化に伴う多種多様な課題や環境に対し、費用対効果の高いITサービスを提案・提供するべく、AWSを活用したクラウドソリューション導入支援のさらなる展開を見据えています。

発行元：三谷商事株式会社 情報システム事業部 夢の架け橋 編集室 〒910-8510 福井市豊島1丁目3番1号（第3三谷ビル）Tel.0776-20-3102 発行責任者：岡田英男 発行日：2021年10月1日

GOUKA PRESENT FOR YOU!!

アンケートに答えて

Dyson Pure Hot＋Cool
HP00ISN

が1名さまに当たる!

【応募方法】
同封のアンケートにご回答いただき、下記FAX番号にお送りいただくか、Webのアンケートフォームよりご応募ください。
[FAX] 0776-20-3104
[Webでのご応募はこちら]

【締切】2021年10月31日
※プレゼントは11月下旬発送予定
※当選者の発表は商品の発送を以って代えさせていただきます。

表紙の写真

「WinROOF Cloud」
ウィンルーフ クラウド

WinROOFシリーズは「最も使いやすい画像解析ソフトウェア」として数千件の導入実績を誇るソフトウェアであり、三谷商事が自社開発している製品となります。

製造業の品質管理や製品開発、バイオ研究の顕微鏡観察、医療現場での診断支援など、多くの分野で利用されており、様々な画像処理機能が搭載されています。

この度、最新モデルを常に利用できるサブスクリプション型のサービス「WinROOFCloud」をリリースしました。必要な期間だけご契約いただくことで、初期費用を抑えた導入が可能となるサービスです。

WinROOFの機能を利用したコラムを「MiVLog」という名前のサイトで公開しています。「ミブログ」と検索して是非一度覗いてみてください。

編集後記

★寄席で落語や講談を見て夢中になり、今やお散歩時の「お耳の恋人」になっています。
（りょーまの休日）

★おうち時間が増えたので家の中の生活用品を一新した結果、QOLが爆上がりしました。
（おうちLover）

★ユーザー訪問を担当しました。今回文教事例をたくさんご紹介できて、うれしいです。
（鬼岩城）

★マイナンバーカード、作っていないな～と思いながら夢の博士を書かせていただきました！早速作ります！
（小花）

★新入社員は素顔の分からないマスクマンと呼ばれているそうですが、ヒーローみたいでカッコいいですね！
（チョコミン党）

★オリンピックの柔道で感涙しすぎてひきつけを起こしました。何事もほどほどが大事と気づきました。
（観る将）

★テレワークもあり、自宅の物置部屋を空けて仕事部屋にしました。狭いですが、待望の自分専用の部屋ができました。
（トモ）

★表紙とトピックスを担当しました。編集委員も4年目となり、編集過程で毎年様々な話題に触れるたび、新鮮な気持ちになれます。
（KEN）

★外食する機会が減ったのでお料理する時間が増えました。卵焼きなら任せてください。甘い派です。
（Sora）

★後輩がたくさんできてうれしいです。みんなとても優秀なのでこれからの超大活躍に期待してます！
（ひろめ市場）

MITANI CORPORATION
三谷商事株式会社

情報システム事業部			
□東京支店	〒171-0033	東京都豊島区高田3-28-2（FORECAST高田馬場1F）	03-5949-6226
□中部支店	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内2-12-13（丸の内プラザビル6F）	052-220-0177
豊田営業所	〒471-0034	愛知県豊田市小坂本町1-13-11（富士火災豊田ビル4F）	0565-32-0061
□関西支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24（新大阪第一生命ビルディング12F）	06-6399-4663
京都営業所	〒604-8187	京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435（京都御池第一生命ビル2F）	075-343-0322
神戸営業所	〒650-0031	兵庫県神戸市中央区東町126（神戸シルクセンタービル4F）	078-333-5356
□公共システム営業部			
公共福井営業部	〒910-8510	福井県福井市豊島1-3-1（第3三谷ビル）	0776-20-3201
公共敦賀営業所	〒914-0076	福井県敦賀市元町5-7	0770-24-3028
□福井支店	〒910-8510	福井県福井市豊島1-3-1（第3三谷ビル）	0776-20-3093
□金沢支店	〒920-0025	石川県金沢市駅西本町1-14-29（サン金沢ビル2F）	076-222-2181
富山営業所	〒930-0008	富山県富山市神通本町1-1-19（いちご富山駅西ビル1F）	076-431-1045
□パッケージビジネス推進部	〒171-0033	東京都豊島区高田3-28-2（FORECAST高田馬場1F）	03-5949-6226
□iビジネス推進部			
関東グループ	〒171-0033	東京都豊島区高田3-28-2（FORECAST高田馬場1F）	03-5949-6211
関西グループ	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24（新大阪第一生命ビルディング12F）	06-6399-5250
□ビジュアルシステム部			
東京営業所	〒171-0033	東京都豊島区高田3-28-2（FORECAST高田馬場1F）	03-5949-6220
大阪営業所	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24（新大阪第一生命ビルディング12F）	06-6399-3755
開発課	〒910-8510	福井県福井市豊島1-3-1（第3三谷ビル）	0776-20-3570
□システム部	〒910-8510	福井県福井市豊島1-3-1（第3三谷ビル）	0776-20-3103
□情報企画部	〒910-8510	福井県福井市豊島1-3-1（第3三谷ビル）	0776-20-3102
技術管理課	〒910-8510	福井県福井市豊島1-3-1（第3三谷ビル）	0776-20-3107
□文教営業部			
東京文教課	〒171-0033	東京都豊島区高田3-28-2（FORECAST高田馬場1F）	03-5949-6226
関西文教課	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24（新大阪第一生命ビルディング12F）	06-6399-4663
京都営業所	〒604-8187	京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435（京都御池第一生命ビル2F）	075-343-0322
神戸営業所	〒650-0031	兵庫県神戸市中央区東町126（神戸シルクセンタービル4F）	078-333-5356
広島営業所	〒730-0042	広島県広島市中区国泰寺町1-8-20（国泰寺信愛ビル4F）	082-545-5355
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前2-6-10（FKビル8F）	092-473-0016

ご意見、ご感想をお待ちしております。 【ホームページ】https://si.mitani-corp.co.jp/